

令和3年度食の安心・安全アンケート調査結果について

1 調査の概要

(1) 目的

府民の食の安心・安全に係る意識を把握し、京都府における食の安全や信頼性の確保の推進に資する。

(2) 調査対象

京都府広報モニター及び一般府民

(3) 調査方法

インターネット調査及びイベント等会場における書面調査

(4) 実施期間

令和3年11月～令和4年3月

(5) 有効数

285

うち インターネット	265
書面	20

(6) 調査項目

- ア 食品の安全に対する意識
- イ 食品の安全について関心のあること
- ウ 食品の安全に関する情報の情報源
- エ 食品の安全に関して気をつけていること
- オ 食品の安全について行政に行ってほしいこと

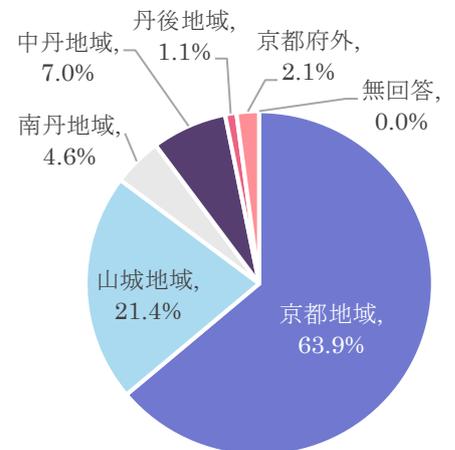
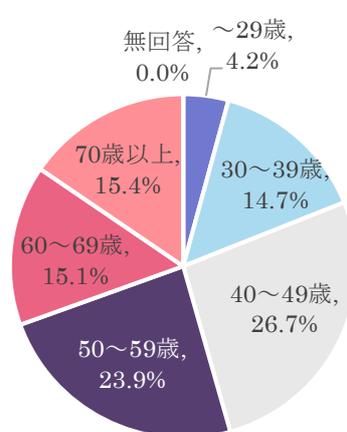
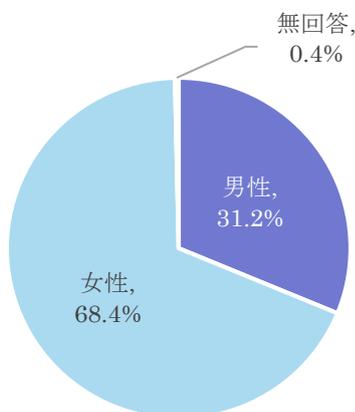
【京都府広報モニター】

趣 旨 府民参加による開かれた府政の推進を目的として、府が行う広報活動についてアンケート調査を実施し、府政運営の参考とする。

活動内容 府が行う広報活動に対する、インターネットを利用したアンケート調査への回答など。
(年12回程度)

2 回答者の属性

区分	回答数（人）	割合（%）	
全体	285	100.0	
性別	男性	89	31.2
	女性	195	68.4
	無回答	1	0.4
年齢	20代以下	12	4.2
	30代	42	14.7
	40代	76	26.7
	50代	68	23.9
	60代	43	15.1
	70代以上	44	15.4
居住地域※	京都地域	182	63.9
	山城地域	61	21.4
	南丹地域	13	4.6
	中丹地域	20	7.0
	丹後地域	3	1.1
	京都府外	6	2.1



※【居住地域の区分】

京都地域：京都市、向日市、長岡京市、大山崎町
 山城地域：宇治市、八幡市、久御山町 以南
 南丹地域：亀岡市、南丹市、京丹波町
 中丹地域：福知山市、舞鶴市、綾部市
 丹後地域：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

3 調査結果

問1 京都府の食の安心・安全について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。「どちらかといえば不安」「不安」を選んだ方はその理由もお書きください。

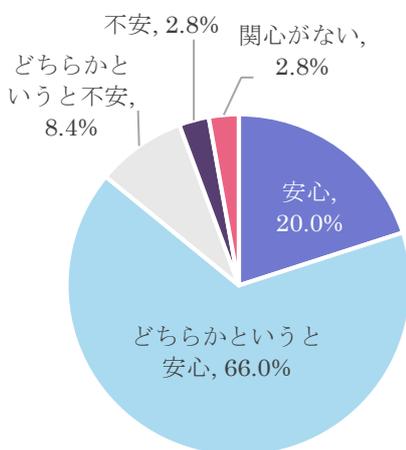
	回答数	割合 (%)
安心	57	20.0
どちらかといえば安心	188	66.0
どちらかといえば不安	24	8.4
不安	8	2.8
関心がない	8	2.8

【「どちらかといえば不安」「不安」と回答した主な理由】

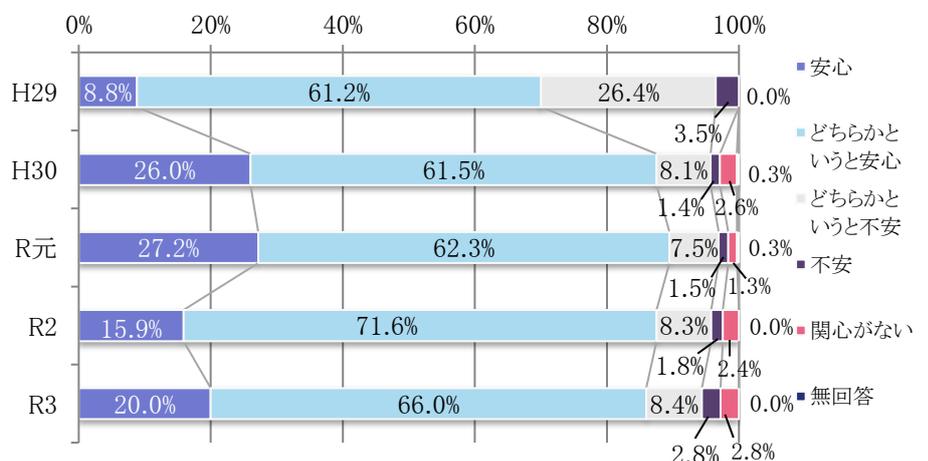
- ・アサリの産地偽装問題などで、情報の信頼性が揺らいでいると思うから
- ・産地偽装や賞味期限の改ざんなどがニュースになり、表示が信用できないから
- ・食品の安全、安心に関しては常に関心を持っているが、野菜、肉魚類について特に京都産のものの安全性がどのように守られているかの情報があまりなく、不安
- ・食の安心安全に関する情報発信（広報）が少なく、京都府の取組の有無や、何が安心・安全なのかが分からない
- ・食品の表示と共に、安心感を与える取組があると良い
- ・ゲノム編集食品、農薬が不安

結果概要

- ・「安心」又は「どちらかというと安心」と感じる方の割合は、86.0%とほぼ横ばいです。
- ・「どちらかといえば不安」「不安」と回答した方の中では、食品の産地表示に高い関心をお持ちの方が多くみられました。



① 項目別



② 年度別

※ H30年度から「関心がない」選択肢を追加

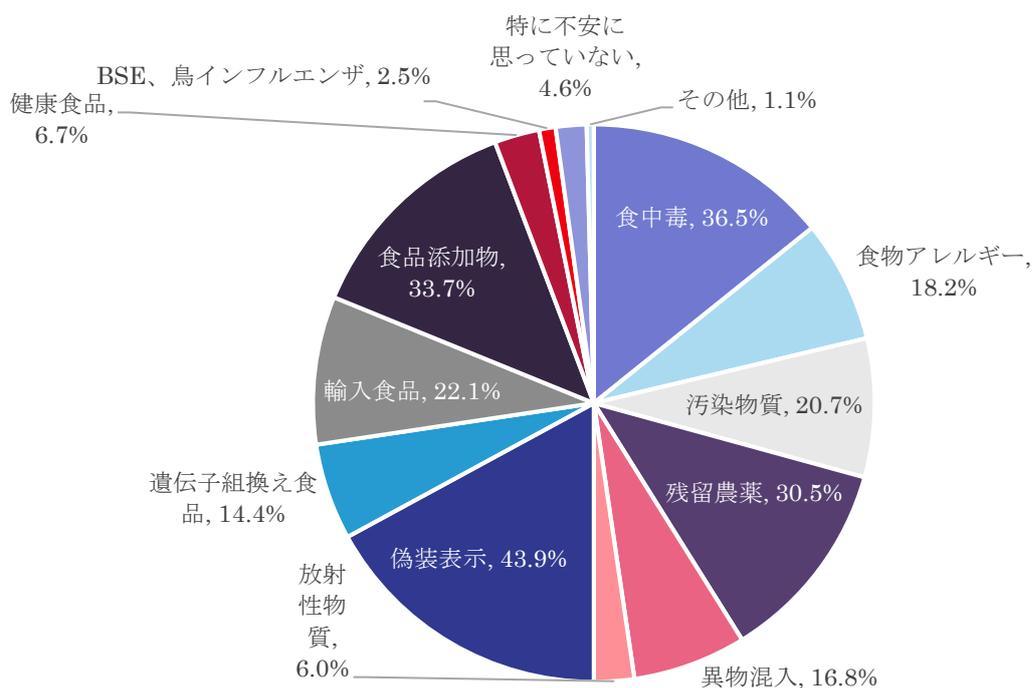
問2 食品の安全について、あなたが特に関心をもっていることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
食中毒 (O157、ノロウイルスなど)	104	14.1	36.5
食物アレルギー	52	7.1	18.2
汚染物質 (メチル水銀、カドミウムなど)	59	8.0	20.7
残留農薬	87	11.9	30.5
食品への異物混入	48	6.5	16.8
食品中の放射性物質 (放射性セシウムなど)	17	2.3	6.0
偽装表示 (産地、原材料、賞味期限など)	125	17.0	43.9
遺伝子組換え食品	41	5.6	14.4
輸入食品	63	8.6	22.1
食品添加物	96	13.1	33.7
いわゆる健康食品※	19	2.6	6.7
BSE (牛海綿状脳症)、鳥インフルエンザ	7	1.0	2.5
特に不安に思っていない	13	1.8	4.6
その他	3	0.4	1.1
合計	734	100.0	

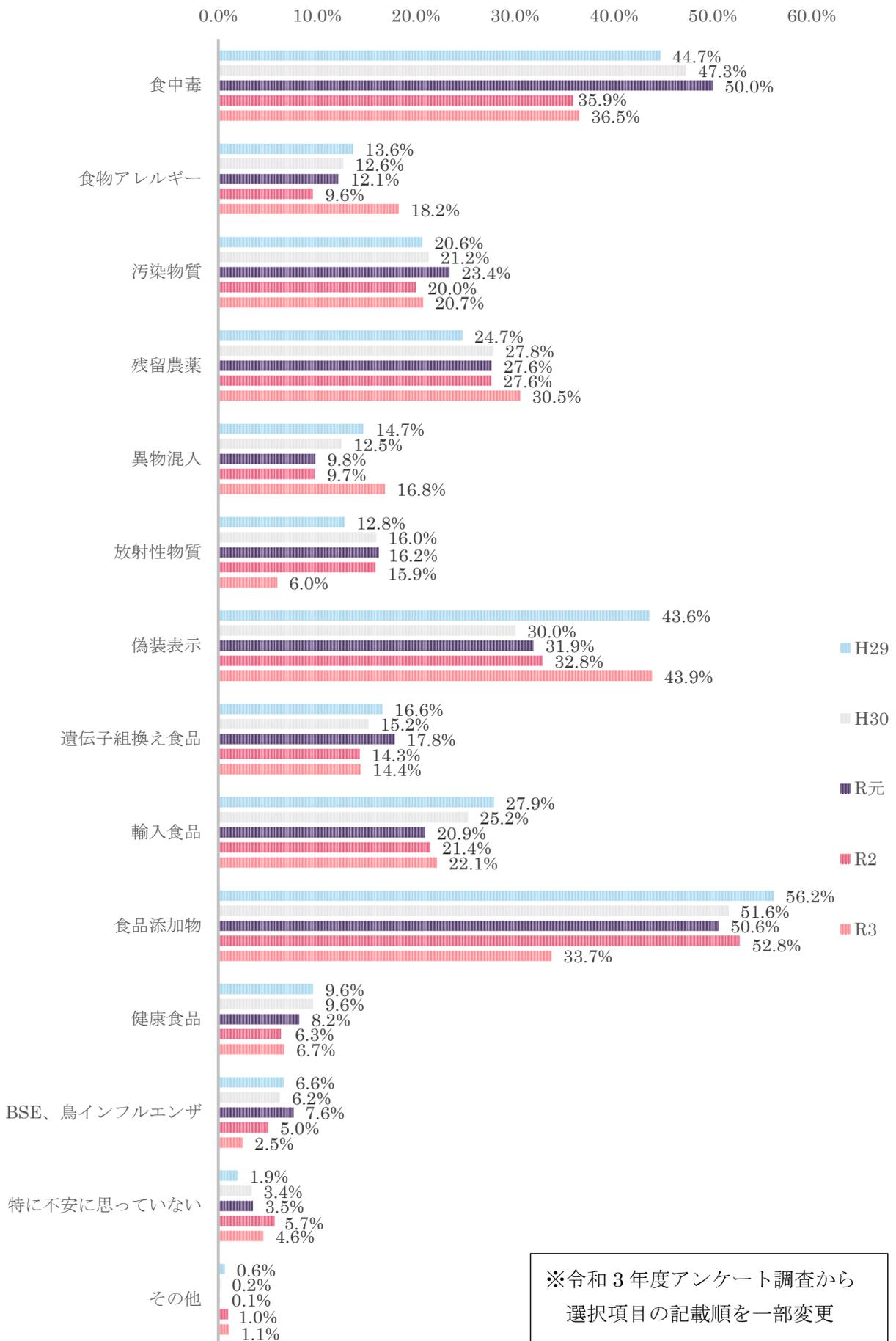
※「健康食品」と呼ばれるもののうち「特定保健用食品」「栄養機能食品」「機能性表示食品」を除くもの

結果概要

・昨年と比べ、「偽装表示」に対する関心は大きく増加しています。



① 項目別



※令和3年度アンケート調査から
選択項目の記載順を一部変更

② 年度別

※H30年度から「健康食品」選択肢を追加

問3 あなたは、食品の安全に関する情報について、どこから得ることが多いですか。
次の中からいくつでも選んでください。

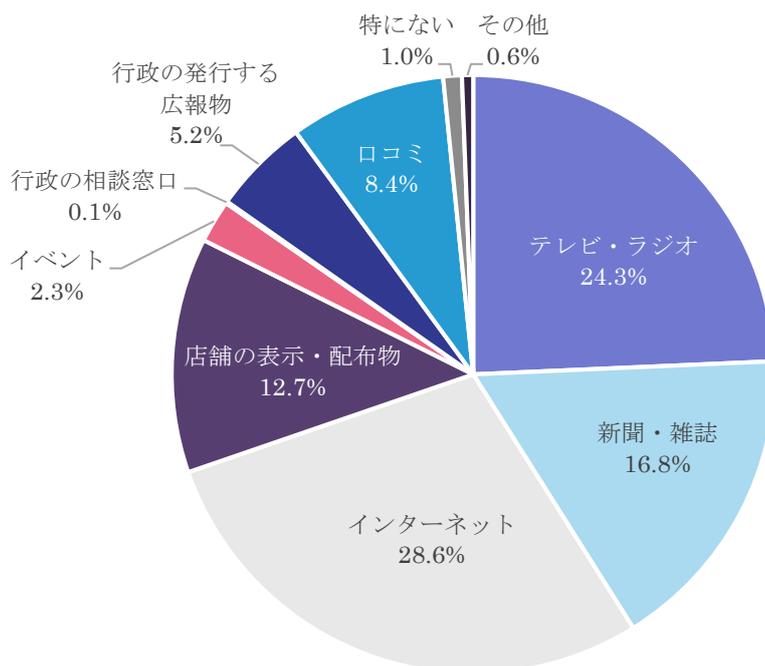
	回答数	割合 (回答 数%)	割合 (回答 者%)
テレビ・ラジオ	194	24.3	68.1
新聞・雑誌	134	16.8	47.0
インターネット (HP、ブログ、SNS など)	228	28.6	80.0
スーパー、小売店、宅配などでの表示や配布物	101	12.7	35.4
イベント (講演会・シンポジウムなど)	18	2.3	6.3
行政の相談窓口	1	0.1	0.4
行政の発行する広報物	41	5.2	14.4
口コミ (友人・家族・従業員など)	67	8.4	23.5
特にない	8	1	2.8
その他	5	0.6	1.8
合計	797	100.0	

【その他の主な意見】

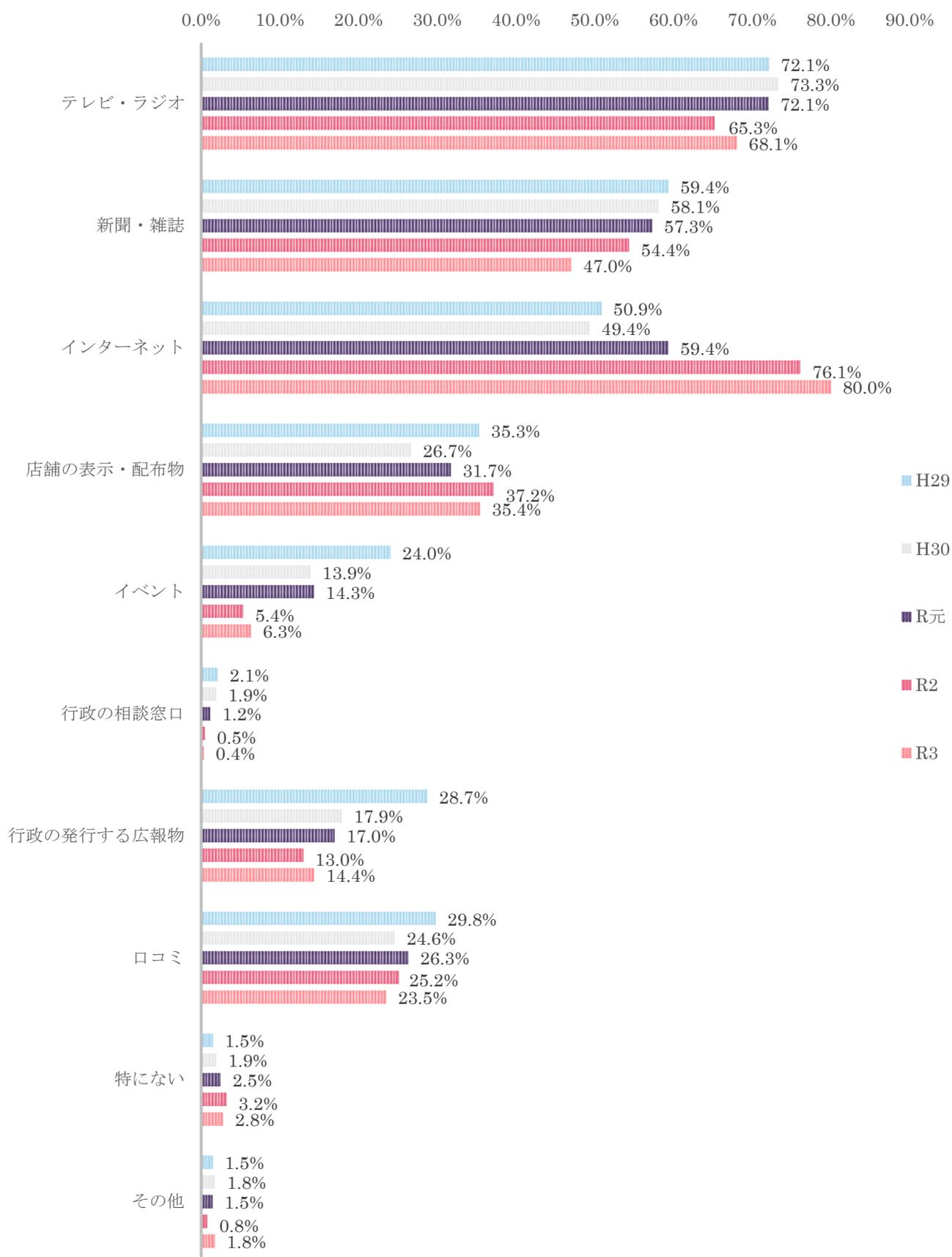
- ・書籍
- ・団体からの案内・パンフレット

結果概要

・インターネットから情報を得ている方の割合が増加し、2年連続で1位になりました。



① 項目別



② 年度別

問4 あなたは、食品を購入する時に、食品の安全についてどのような点を考慮していますか。次の中から3つまで選んでください。

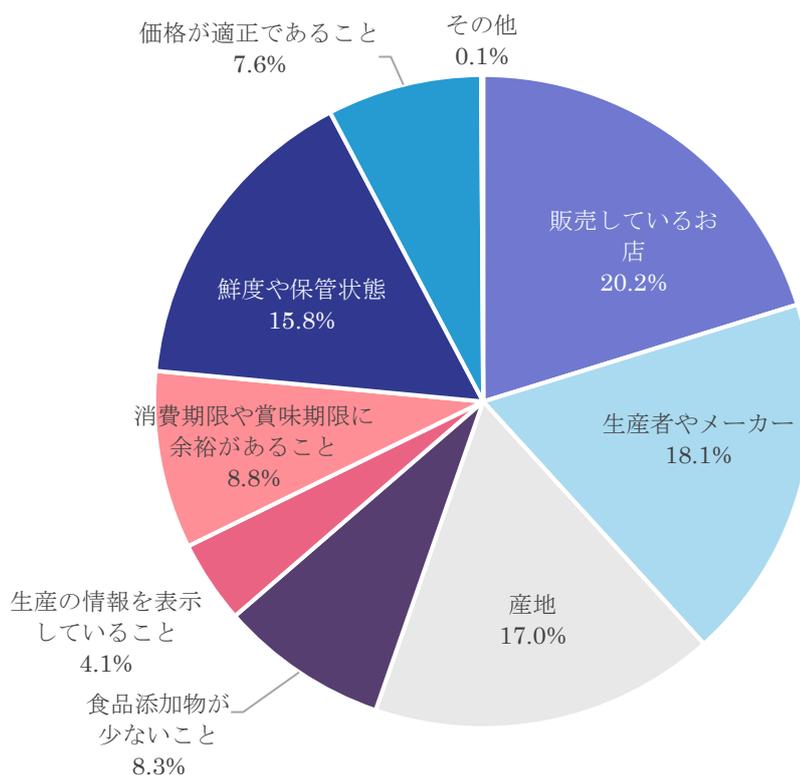
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
販売しているお店が信頼できること	156	20.2	54.7
生産者やメーカーが信頼できること	140	18.1	49.1
産地	132	17.0	46.3
使用されている食品添加物が少ないこと	64	8.3	22.5
生産者の名前など生産の情報を表示していること	32	4.1	11.2
消費期限や賞味期限に余裕があること	68	8.8	23.9
鮮度や保管（保存）状態が良いこと	122	15.8	42.8
価格が適正であること	59	7.6	20.7
その他	1	0.1	0.4
合計	774	100.0	

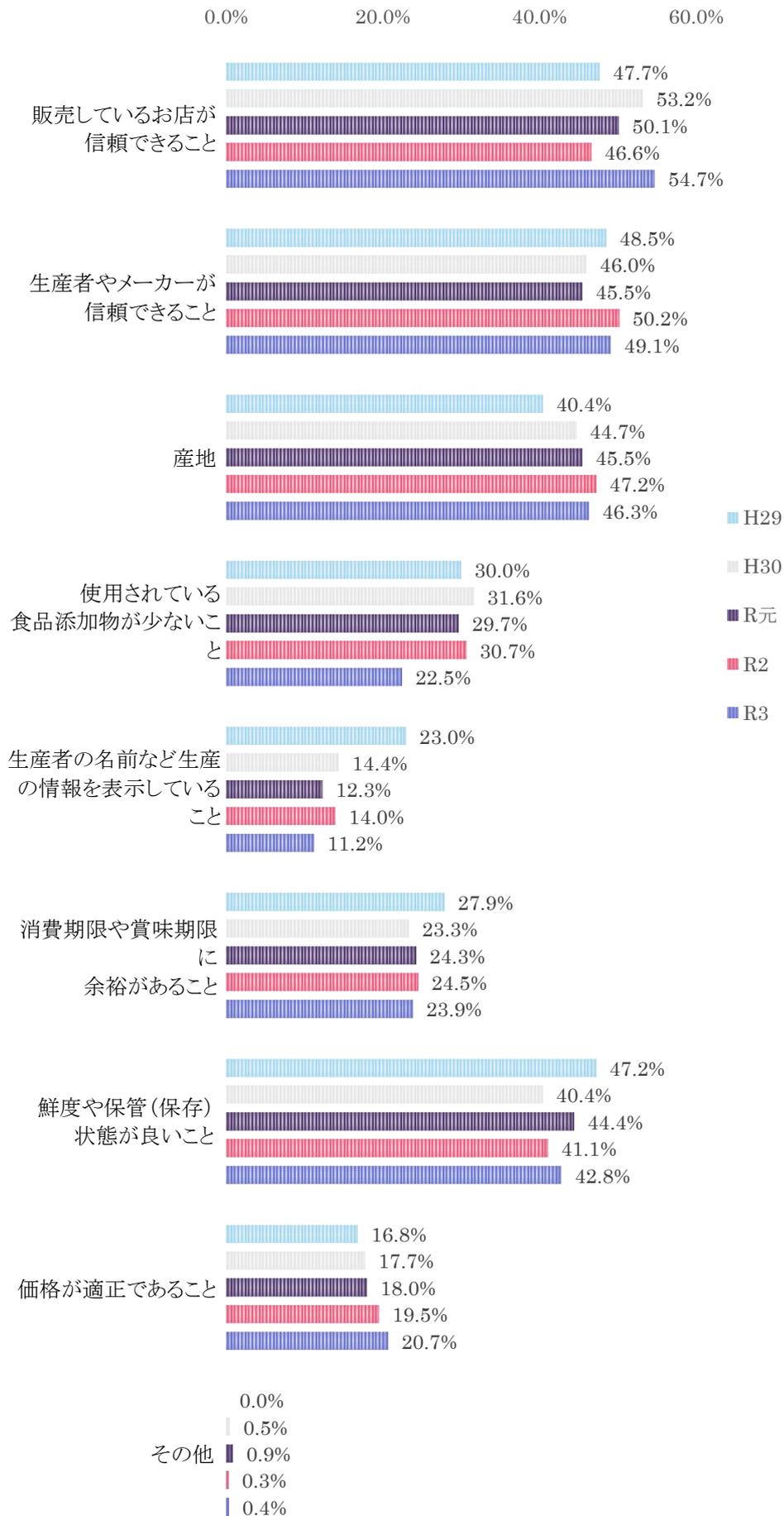
【その他の意見】

- ・塩分が少ないこと

結果概要

- ・食品そのものよりも製造者、販売者、産地などへの信頼感を購入の際の判断材料にされる方が多い傾向です。
- ・全体的な傾向は昨年度から大きな変化はありません。





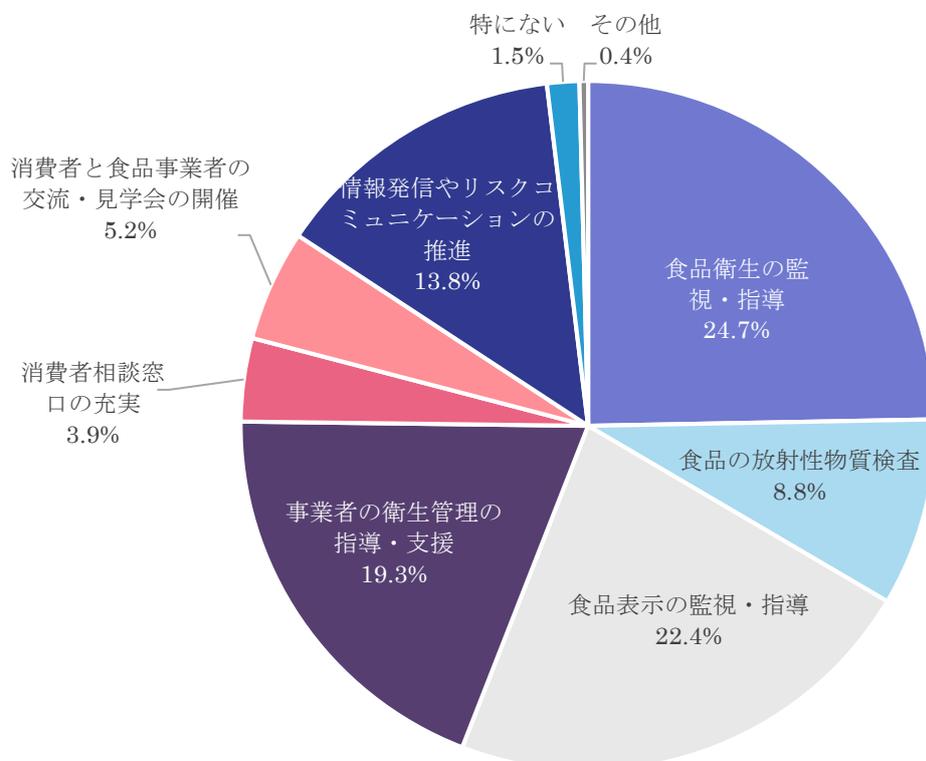
② 年度別

問5 食品の安全を高めるために、京都府がさらに強化すべき取組は何だと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

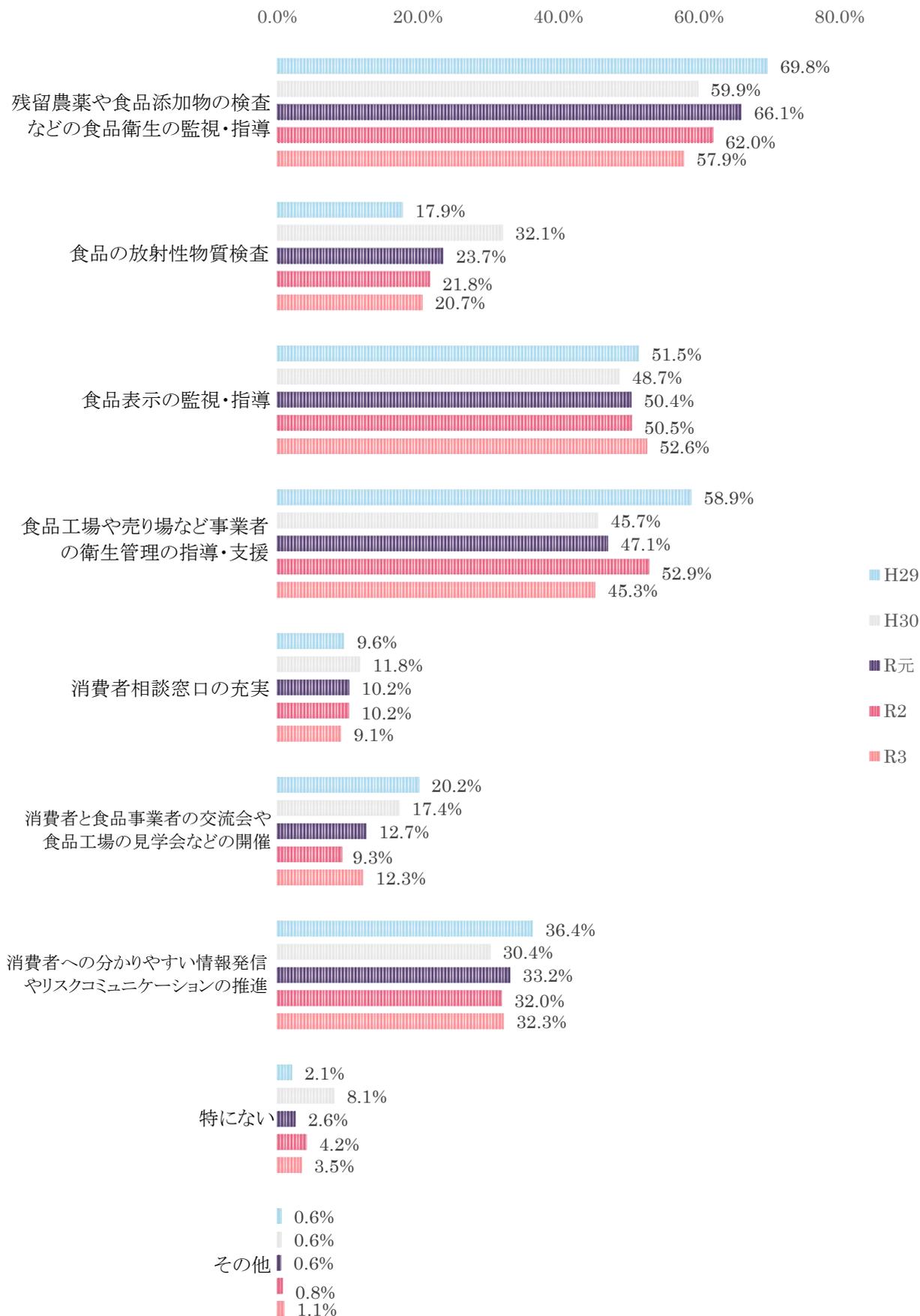
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
残留農薬や食品添加物の検査などの食品衛生の監視・指導	165	24.7	57.9
食品の放射性物質検査	59	8.8	20.7
食品表示の監視・指導	150	22.4	52.6
食品工場や売り場など事業者の衛生管理の指導・支援	129	19.3	45.3
消費者相談窓口の充実	26	3.9	9.1
消費者と食品事業者の交流会や食品工場の見学会などの開催	35	5.2	12.3
消費者への分かりやすい情報発信やリスクコミュニケーションの推進	92	13.8	32.3
特にない	10	1.5	3.5
その他	3	0.4	1.1
合計	669	100.0	

結果概要

- ・事業者の監視・指導や支援の取組を強化してほしいと考える方が多い傾向です。
- ・全体的な傾向は昨年度から大きな変化はありません。



① 項目別



② 年度別